

政府に対する科学助言に関する国際ネットワーク第3回会合
(INGSA 2018 カンファレンス) の開催について

2018 年 7 月 26 日

1. 趣旨

現在、社会的課題の解決や持続可能な成長の実現に向けて、科学技術やイノベーションへの期待が世界中で高まっている。その一方で、革新的技術がもたらす社会的影響や、自然災害や大規模事故等の緊急事態への対応など、科学的知見を踏まえた上での政策的対応が求められる場面も多くなっている。このような背景のもと、各国政府、国際機関等において、政策に対する科学的助言を行う政府科学顧問や助言機構の整備が進められており、我が国でも 2015 年に外務大臣科学技術顧問が設置されている。

「政府に対する科学的助言に関する国際ネットワーク (International Network for Government Science Advice: INGSA)」は、このような政府科学顧問・助言機構関係者によって構成される国際的ネットワークである。INGSA は、2014 年の創設以来、科学的助言のあり方や具体的課題、取り組むべきテーマ等について議論・情報共有を行っている。また INGSA は、外務大臣科学技術顧問ネットワーク (FMSTAN) の事務局を担うとともに、国連持続可能な開発目標 (SDGs) に関しても国際学術会議 (ISC) と共同で、各目標間の相互作用の分析を進めるなど活動を拡大させてきている。

本会合は、INGSA 関係者のみならず、専門家、政策担当者等が一堂に会する場として、INGSA、科学技術振興機構と政策研究大学院大学が共同で開催するものである。本会合では、急激に変化する世界において、政策的・社会的課題に対して科学的助言が対応しなければならない課題、特に革新的技術と社会との関係や、SDGs 達成に向けた科学技術イノベーションの推進といった、我が国においても Society 5.0 の実現や STI for SDGs の推進において重要な課題が議論される。この場を通じ、これらの諸課題に関する世界での検討状況やその背景、具体的な取り組みを把握するとともに、関係者との幅広いネットワークを構築することを目的として開催する。

2. 概要

日 時：2018 年 11 月 6 日 (火) ～11 月 7 日 (水)

会 場：政策研究大学院大学 (東京都港区六本木 7-22-1) 想海樓ホール他

言 語：英語 (一部同時通訳予定)

参加者：主要国政府科学顧問、専門家、政策担当者等約 250 名 (招待制)

3. 主催・共催・後援等

主催：政府に対する科学的助言に関する国際ネットワーク (INGSA)

国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST)

国立大学法人政策研究大学院大学 (GRIPS)

共催：(公財) 日本学術協力財団

パートナー：欧州委員会

この他、関連府省への後援、及び民間企業・財団等の協賛を予定

4. テーマ

メインテーマ：

Science Advice in a Changing World（変化する世界における科学的助言）

分科会テーマ：

- 1) 技術・社会の変革の時代における科学的助言（情報化時代における人間、破壊的技術のマネジメント、ビッグデータと政策形成等）
- 2) 持続可能な開発目標（SDGs）と科学的助言（人文・社会科学との連携、政策課題のマッピング、民間セクターの役割等）
- 3) 科学的助言の将来（信頼の醸成、スキル開発、公共政策と科学助言等）
- 4) 具体的事例における科学的助言の課題（災害と科学的助言、持続可能な都市、科学技術外交等）

5. 登壇予定者

<基調講演者>

- ヘレン・クラーク 元国連開発計画総裁、元ニュージーランド首相
- アヒム・シュタイナー 国連開発計画総裁、
その他調整中

<その他登壇者（一部）>

- ピーター・グルックマン INGSA 議長、前ニュージーランド政府首相科学顧問、
国際学術会議（ISC）次期会長
- マーク・ファーガソン アイルランド政府主席科学顧問
- レミ・キリオン カナダケベック州主席科学顧問
- ヨハネス・クランパー 欧州委員会科学助言機構（SAM）ユニット長
- ウラジミール・スーシャ 欧州委員会共同研究センター（JRC）事務局長
- エボラ・ナキセノビッチ 国際応用システム分析研究所（IIASA）副所長
- クレア・クレイグ 英王立協会科学政策主席科学政策オフィサー
- ケイ・ファース=バターフィールド 世界経済フォーラム AI・機械学習プロジェクトヘッド

6. スケジュール（別紙参照）

11月5日（月）

- グローバルヤングアカデミー・日本若手アカデミー能力構築ワークショップ
- 外務大臣科学技術顧問ネットワーク（FMSTAN）会合及び科学技術外交ワークショップ
- INGSA 地域支部会合

11月6日（火）

- 2018 INGSA Conference（1日目）
- レセプション

11月7日（水）

- 2018 INGSA Conference（2日目）

11月8日（木）

- INGSA リサーチアソシエートワークショップ
- 都市と持続可能性ワークショップ
- 議会と科学的助言ワークショップ

※参考：11月9日（金）～11日（日） JST 主催によりサイエンスアゴラ 2019 をお台場で開催予定

7. 成果の発信等

- 開会式・全体会合等はライブ・ストリーミング配信を予定。
- 本会合の成果は、（公）日本学術協力財団『『科学と社会』プログラム』事業の活動の一環として、同財団が発行する『学術の動向』に特集として掲載される他、Asia Research News 他多様なチャンネルを通じて展開される予定。

8. 過去の開催実績

- 第1回（2014年、オークランド）：国際科学会議（ICSU）と共同で開催。40カ国、約220名が参加。
- 第2回（2016年、ブリュッセル）：欧州委員会と共同で開催。72カ国、約450名が参加。

9. 会議ウェブサイト

- INGSA2018 カンファレンスウェブサイト
<http://www.ingsa.org/ingsa2018/>

以上

INGSA2018 カンファレンス プログラム案

11月5日(月): 関連会合

時間	プログラム		
午前	グローバルヤングアカデミー/ 日本若手アカデミー能力構築	外務大臣科学技術顧問ネットワーク (FMSTAN) 会合	INGSA 地域支部 会合
午後	ワークショップ（日本学術会議）	科学技術外交ワークショップ	
夕方	GRIPS フォーラム（INGSA 参加者による公開講演会）		

11月6日(火): INGSA2018 カンファレンス (第1日)

時間	プログラム			
午前	開会式			
	基調講演 : ヘレン・クラーク 前国連開発計画 (UNDP) 総裁・元ニュージーランド首相			
	全体会合 1 : SDGs と科学/政策のインターフェース			
	全体会合 2 : (調整中)			
昼	昼食			
午後	分科会 1 技術・社会の変革の時 代における科学的助言	分科会 2 SDGs と科学的助言	分科会 3 科学的助言の将来	分科会 4 科学的助言の具体的事 例
	分科会 1.1: 情報化時代における人間	分科会 2.1: 人文・社会科学の役割	分科 3.1: 信頼の醸成	分科会 4.1: 災害と科学的助言
	コーヒブレイク			
	全体会合 3 : 社会・技術の変化と地球レベルの課題			
	基調講演 2			
	第1日の議論のまとめ			
夜	レセプション			

11月7日(水): INGSA2018 カンファレンス (第2日)

時間	プログラム			
午前	基調講演 3			
	全体会合 4 : 地域から世界へ-多様なレベルでの科学的助言の必要性			
	分科会 1.2: 革新的技術のマネジメント	分科会 2.2: 政策課題のマッピング	分科会 3.2: スキル開発	分科会 4.2: 持続可能な都市
昼	昼食			
午後	分科会 1.3: ビッグデータと政策形成	分科会 2.3: 民間セクターの役割	分科会 3.3: 公共政策と科学的助言	分科会 4.3: 科学技術外交
	基調講演 4			
	全体会合 5 : INGSA の今後の発展に向けて			
	閉会式			

11月8日(木): 関連会合

時間	プログラム		
午前	都市と持続可能性ワーク	議会と科学的助言ワーク	INGSA リサーチアソシエートワ ークショップ
午後	ショップ	ショップ	

※11月9日(金)～11日(日) サイエンスアゴラ 2018 (JST 主催)